

# 城陽市障がい者自立支援協議会

## 第 26 回 サービス調整検討部会報告書

平成 29 年 3 月 31 日

報告者 部会長 障害者生活支援センターは一もにい 小関 徹史

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 29 年 1 月 13 日
場 所	心障センター
出席者	城陽市福祉課、城陽市社会福祉協議会訪問介護センター、南京都病院 ホームヘルプステーションゆう、相談支援事業所 TOMO、！-style 城陽作業所、ヘルパーステーションスイート、みんななかま、青谷学園 知的障害者デイサービスセンターあつぷ、相談事業所リーフ、あんびしゃ そらいろ、障害者生活支援センターは一もにい 12事業所
実施内容	心障センターで生活訓練事業所ひまわりと障害者支援施設の見学を行い、事業所の報告の 後に、入所の方が在宅復帰に向けてという取り組みについて意見交換する。

### 【議事録】

#### 1 事業所見学

生活訓練事業所ひまわりと障害者支援施設の見学

#### 2 各事業所報告

みんななかま：うおーく、ういず開所

TOMO・ゆう：事務所の移動→リハビリ病院内

#### 3 事例報告

数年前に倒れられて、幼い子供も抱えており、自宅での生活は厳しく入所に。リハビリや施設生活でADL向上がみられ自宅復帰を目指している方の報告。

少しずつできる事が増えて、日中は他事業所に通所もできている。

#### 4 まとめ

今まで大きな変化もなく暮らしておられた家庭に、突然家族の介護が必要になったケース。

家族の障がい需要のサポートとしてなるべく家に帰ってもらい、家族との時間を増やしてもらう事でご本人の事をしっかりと受け入れてもらう必要がある。

また、実際に在宅で暮らしていくためにもハード面の整備も必要になってくるが、入所中は住宅改修の制度を使えないという問題もある。

なかなか障害者支援施設から自宅に戻って介護保険の対象になれる方のケースに関わっておられた事業所さんは少なかったが、貴重な情報共有になった。

以上

